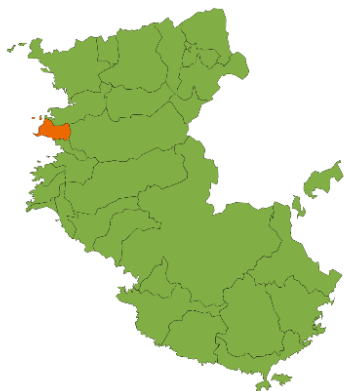


和歌山県有田市

青みかん（摘果みかん）の価値を上げる



【活動の基本情報】

参加学生数：15名

（1年生4名、2年生：5名、3年生：4名、4年生：2名）

活動期間：2020年6月～

担当教員：岸上光克、永瀬節治

1. 活動実施の経緯

有田市では、有田みかんのブランド化や販路開拓などのみかん産業に対する支援を積極的に展開する中で、毎年みかん収穫前にみかんの大きさを揃えるために成りすぎた果実を減らす作業（摘果作業）によって捨てられている「青みかん（摘果みかん）」の価値向上に向けた取り組みを、令和2年度からLIPの活動として進めている。また令和2年3月に有田市宮原町の旧駐在所をリノベーションして誕生した地域交流拠点「宮原さん家（ち）」の活用にも取り組んでいる。

2. 活動の内容

今年度はイベント班、レシピ班、栽培情報班に分かれ、宮原地域交流協議会をはじめとする地域の方々とともに複数の現地活動を実施した。宮原さん家での1日限定の青みかんピザの販売（10月）や、同企画に向けて地域の方々から試作品へのコメントをいただく「おかんの試食会」、宮原さん家で地域の子どもたちを見守る「おかん当番」の体験を行ったほか、昨年度の宮原小学校での授業に際し小学生から提案された青みかんの活用案を基に試作品づくりを行う「試作会」も実施した。さらに11月下旬にあべのハルカスで開催された「ハルカス学園祭」にも2度目の出展を行い、展示等による活動内容のPRや来場者との交流を行ったほか、令和5年2月中旬には和歌山市の藤戸台小学校において青みかんに関する出張授業も行う予定である。

3. 活動を通じて

コロナ禍の状況も徐々に落ち着き、対面での活動が再開する中で、今年度は現地でのイベントをはじめ様々な企画・提案を具体化する活動を実践することができた。4年目となる来年度は、これまでの成果を踏まえ、商品開発や価値の発信など、青みかんの可能性を地域の方々とともに引き出すための企画や体制づくりに発展することを期待したい。

4. 成果ポスター

宮原青みかんLPP活動報告

私たちは有田みかんの生産途中で間引かれる青みかんの新たな価値の発見、向上を目標に日々活動しています。3年目となった今年度は、コロナウイルスによる制限も緩和され、昨年までと比べるとより地域の方と実際に交流できる機会を持つことができました。来年度以降は、青みかんを活用したこの活動の軸となる商品の開発、地域内外のイベントへの出店をおもに活動してまいります。



おかんの試食会

10月のピザショップで販売予定の「青みかんピザ」の試食会を行い、地域のおかんの方々から様々なコメントをいただきました。これを参考に、当日販売するピザは、試作した2種類のうちより苦味の少ない、果肉を乗せたものが採用されました。試食の前には青みかんに対する印象や地域の現状についてのヒアリングを行い、ピザショップに関する改善点だけにとどまらず、今後の活動に何が求められているのかを認識する貴重な機会となりました。



ピザショップ

昨年度オンラインクッキングを行った『宮原のメモワール』の中の1品、「青みかんピザ」を今年度は1日限定出店しました！青みかんピザは、ソースにもトッピングにも青みかんをふんだんに使ったまさに青みかんを楽しんでいただける商品となりました。当日は地域の幅広い年代の方がお買い求めくださり、このピザが地域の方との架け橋になったように思います。さらに改良をし、まずはもっと地域の方に青みかんの存在価値を知っていただきたいです！



ハルカス学園祭

今年度青みかんLPPとして二度目の出展となったハルカス学園祭では、今年度の活動報告と、青みかんの栽培情報研究の成果の展示を行いました。通りかかった一般のお客様や、出展している他団体の方、和歌山大学OBの方が足を止めてくださり、活動内容の紹介をしたり、意見交換をさせていただいたり、とても貴重な経験をさせていただきました。青みかんを活用したいという思いに共感して下さる方が多く、この活動をもっと広げていきたいと感じました。来年度は青みかんを使った商品を販売することを目標に活動していきたいです。



おかん当番

地域のコミュニティスペースとなっている宮原さん家で子どもたちを見守る「おかん当番」を私たちも担当させていただきました。地域の子もたちと交流を持つことができ、より身近に地域の子もたちの声を知ることができました。

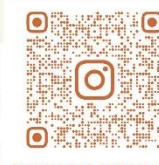


試作会

2021年度に行った、宮原小学校の授業を行ったときに、頂いた小学生たちの青みかん活用案を元に実際にイベントで試作会を開きました。試作会では青みかんを使用しながらクリスマスリースや石鹸、入浴剤、ラーメン、オレンジェット、クッキー、パウンドケーキなど様々なものに挑戦しました。



↓クックパッドはこちら



@MIYAHARA_MIKAN_LPP

合同報告会 当日の様子

和歌山県有田市宮原

テーマ：青みかん（摘果みかん）の価値を上げる

宮原青みかん LPP では、発表順が最後であったため、それまでの間、他の LPP の発表を聞くことができた。発表の際には、同じ報告時間帯に他の発表がなく、ポスターセッションというよりも、大勢の座っている人に対して発表する形となった。発表中は、ポスターを間近で見ってもらうことは難しかったが、より多くの人に私たちの活動を知ってもらえたことは本当によかった。メンバーのみんなも、予想外の展開に緊張しながらも各自の役割を全うしながら、限られた時間内で発表することができた。

コメントシートでは、私たちが大切にしている地域の方との交流などについて多くのコメントがあり、発表やポスターによって私たちの活動を伝えることができ、と

とても良かったと感じた。来年度で 4 年目となり集大成に差し掛かってくるが、今年度の活動を活かしてもっと青みかんの価値を高めていきたいと思う。

